

自治労きよと

5 / 1
2002
第409号

発行所・自治労京都府本部 〒604-0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918 発行人・木村幹雄 編集人・乾 浩朗
定価 一部10円 本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみならずのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932 FAX.075-231-4918
E-mail: jichiro@po.media-net.ne.jp
http://www.jichiro-kyoto.gr.jp/



国保労組

私たちの職場を守れ

議員要請とメーデービラ配布を予定

雇用ゆるがす医療保険制度改革

前号で医療保険制度改革について少しふれましたが、今回は国保労組としての取り組みも含めて報告します。

医療保険は大きく分けると、職域保険(社会保険)と地域保険(国民健康保険)があります。社会保険は社会保険診療報酬支払基金、国保については国保連合会とそれぞれ別の異なる組織で存在し、改革を進めようとして、国会議員に対して「支払

ている政府の中には二つの組織を一つにまとめるという考え方がありま

す。政府の総合規制改革会議は、診療報酬明細書の保険者による直接審査の支払、民間参入などを発

表しましたが、これらには問題点も多くあると考

えています。

私たち国保労組は、国会審議が衆議院で行われている状況を受け、衆参両院議員に対して「支払

基金と連合会は設立趣旨・使命が違う」ことを説き、医療保険制度改革の審議を進めてもらう要請行動を予定しています。

さらにメーデー会場で国保連合会の役割を多くの人に理解してもらい、制度改革がもたらす問題点を提起するビラ配布行動も考えています。

皆さんのご支援とご協力をよろしくお願いします。

▶京響音楽家労組メンバーによるオープニングコンサート



オープニングは“木管五重奏の夕べ” 京響演奏とワインを心ゆくまで

府本部はアースデイオープニングイベント「アースデイコンサート」の二、木管五重奏の夕べを四月十五日、ホテルセントノーム京都で開催し、六十三人が集まった。春の恒例行事となつてい

るこのコンサートは、おなじみの面々はもとより、はじめて参加された他産別の招待者や家族連れなど、昨年を上回る参加者で盛況のうちに始まった。

コンサートは今年も京響音楽家労組の協力で、ハイドンの「ディヴェルティメント」から山田耕作的「赤とんぼ」など全六曲を演奏。演奏者は中川佳子さん、榎和美さん、海川雅富さん、仙崎和男

環境問題の取り組み地域とともに

2002アースデイが幕開け

さん、中川慎一さんの五人。プロの観演に水を打ったように会場は静まり、いつもながら演奏に聞き入るばかり。途中のワインタイムでは、国際色豊かなワインの銘柄と味を楽しみながら交流が図られた。

自治体の事業は環境問題にかかわることが多く、住民の理解と協力が必要となる。住民との接点を持つためにも、労働組合の取り組みが大切であることをこのコンサートで確認しあった。

丹後6町の現状と課題を調査

市町村合併 新市建設案構想へ

丹後ブロック研究会

市町村合併丹後ブロック研究会は、四月八日と九日の二日間わたってフィールドワークを実施した。丹後六町では四月一日に合併推進法協議会が設置され、二日後をメドに合併の是非も含めた本格的な合併協議に入

ろうとしている。このフィールドワークは、その丹後六町の現状と課題を現地で把握し、合併協議の焦点である「新市建設案」について、私たちの建設案を構想しようとするもの。合併研究会から澤井勝教授、新川達郎教授、木谷晋市教授と本田台併研事務局長、黒岩事務局長代行が参加し、自治労大宮町職と自治労網野町職からも合併研メンバーの参加があった。二日間フィールドワークと併せて、峰山地方振興局と丹後六町のすべてを

労組の存在意義を学習

自治労共済のメリットも解説

JI-UP京都第3回交流学習会



▲本部JI-UPセンター事務局長から36協定などの講義を受ける参加者

府本部労組法適用組合協議会(JI-UP京都)は、第三回交流学習会を四月十四日に京都市・きよみずで開き、約五十人が参加した。

今回は学習テーマを「労組の存在意義と労組法(自治労共済)とし、自治労本部JI-UPセンター事務局長・小畑精武氏、自治労共済京都府支部事務局長・乾眞治氏を講師に招き、恒例となつた京響音楽家労組による記念演奏に引き続き開会した。

訪問して聴き取り調査を行うとともに、特徴的な公共施設や福祉関連施設などの視察を行った。各町とも町長や助役、関係課長らが勢ぞろいで対応、熱心な説明と抱える悩みを率直に披露された。合併研からのさまざまな質問にも積極的に対応され、各町とも今後の地域づくりの方向性に対する外部からの意見に積極的に耳を傾ける姿勢を感じた。合併研の今後の課題のために、実に有意義なフィールドワークとなった。

JI-UP京都加盟単組は自治体労組と異なる労働組合法が適用される。職場の運営形態や単組の規模(数人から百数十人)も違い、直面する問題などにも差があり、それぞれが独自の課題を多く抱えている。今回の学習会では「三六協定」を中心に労組の必要性、労組は何ができるのか、また何をすべきかについて講義を受けた。そして民間生損保との比較をもとにした自治労共済の制度解説も行った。

講義と討論の欲張った内容で、予定時間を大幅に越えるほどの充実した学習会となり、引き続きの懇親会でも活発な議論が展開された。

双思交

「総理に最も近い男」政界のプリンストンと言われた加藤紘一元、自民党幹事長が政界を去った。一昨年の「加藤の乱」では、彼の「一挙一動」に国民が関心を示した。その意味では、今の政治への関心は彼が下地をつくったといえよう。結果がどうであれ、加藤の乱を貴徹していれば、このような事態を迎えていたかどうか。しかし彼の反乱を機に森政権が生まれ、今の小泉政権が生まれたことは確かである。▼その小泉政権も発足して一年が経つ。蜜月の仲であった田中真紀子元外相とは疎遠となり、支持率は急落し、構造改革を叫ぶわりには、何かが変わりつつあるような予感すら感じられない。▼先頃開催されたG7では「日本は世界経済の足かせ」との厳しい見方がされている。議員スキャンダルで奔走する国会、医療保険制度改革や有事法案、個人情報保護法案など、国民に不安や失望を感じさせている。そのことでは森政権と何ら変わりはない。ただ失言の数が少ないだけ、それが小泉政権発足一年の私なりの検証結果である。

軟式野球大会
予選 5月25日(土)

八幡市民スポーツ公園グラウンド他

第24回自治労スポーツ大会
京都府大会

八幡市民体育館
アリーナ

バレーボール大会
6月1日(土)

日常行動から情報得る努力を

施設の痴ほうケアを学ぶ 第8回ケアワーカー交流会



講師の北沢啓子さん

府本部は第八回ケアワーカー交流会を四月二十一日に於けるプラザ京都で開き、十八カ所の事業所から三十人が参加した。

交流会では現在、「痴ほう」をテーマにした三回の連続講座を実施しており、今回はその二回目。大阪市立弘済院第二特別養護老人ホーム施設長の

「在宅と施設では利用者への基本的なかわり方が違うが、痴ほうケアの根本は同じ」と感想を述べていた。

今回の参加者は主にホームヘルパーだったが、

京田辺市職 新採向け学習会を開催

29人全員が組合加入

京田辺市職員組合は四月十日、新規採用職員向けの組合学習会を庁舎内会議室で開いた。学習会には今年四月一日付で



田中委員長の歓迎あいさつ後、執行部の紹介に続いて新採職員らがう

春のおすすめ スポット



広大な庭園に茶室 美術館もオーブン

八幡市・松花堂

松花堂庭園は、府指しであり、竹の美しさが定重要文化財の松花堂。際立つ二万二千平方メートルの広大な庭園で、三棟の庭園茶室などが

館として新しく「松花堂美術館」がオープンしました。

美術館本館は、八幡の歴史・文化・観光情報を紹介するコーナーや、八幡とゆかりの深い文人たちの史料コーナーなど、美術館の中心となる展示室(十月オープン)や松花堂昭葉の書画、茶道、交流の各面をパネルやモニターで紹介しています。別棟の「食の交流棟」は、松花堂吉兆、オリジナルグッズを取りそろえたミュージアムショップがありま



好評のパン作り 今年も2回企画

八幡市職労女性部は四月二十日に、昨年好評だったパン作り教室を今年も実施しました。

ビーツマン、プチトマトなどをのせ、焼き上がったパンをおいしくいただきました。

参加した二十人は、四人ずつ五テーブルに分かれ、ピザ、バター、ホウロウ、桜餅の三種類を作りました。ピザは生地作り、こね方から教わり、タマネギ、

好評につき二回企画し、今回は六月二十九日の予定です。メニューは季節に合わせたものを、というところで今から楽しみです。(八幡市職労女性部)



- 一日/メーデー
- 三日/青年女性憲法フォーラム(東京)
- 八日/男女労働連大会(東京)
- 九日/労安担当者会議
- 十日/青年部常任委員会/安心の医療と介護連合中央集会(東京)
- 十一日/囲碁将棋大会(高知)
- 十三日/ケアワーカー交流会(はるプラザ)
- 十五日/執行委員会/組織拡大行動委員会/沖縄ヒースアクション
- 十八日/青年部バスフィッシング大会(大津市)
- 保育学習会(府本部)
- 町村評幹事会、賃金権利セミナー(かもがわ)
- 二十日/スポート大会(野球場)
- 八幡市市民スポーツ公園(ランド)
- 三十一日/自治労中央委員会

未払い賃金を勝ち取る

公共ユニオン 九十九元職員 提訴とり下げ解決

特別養護老人ホーム「九十九元」の元職員が、未払い賃金の支払いを求めて京都地裁へ提訴していた事件で、京都公共ユニオンは四月十日、園側から未払い分の支払いを勝ち取り解決した。

この事件は、九十九元園に勤務していた元職員に、残業手当と約束手続の未払いが認められ、団体交渉も拒否されたことから、三月七日に提訴した。三月十九日には京都府が園に対して入所者待遇や施設運営について改善命令を出し、園が報告していた元職員数が実数と大幅に食い違っていた

政・官・業ゆ着や天下りを止めさせ 透明で民主的な公務員制度改革を実現しよう。

官僚と政治家とのゆ着、不祥事の続発など行政がゆがめられ私物化がまかり通っています。政府の「公務員制度改革大綱」は、こうした問題にメスを入れず、逆に特権的官僚制度を温存し、



天下りを緩和するなど改革とはほど遠いものです。大綱を撤回し、労働基本権を保障した公正・透明で民主的な公務員制度改革を実現するための署名運動に取り組んでいます。

自治労「大綱」撤回へ、1000万人署名を成功させよう